

器 70 歯科用鑄造器
一般医療機器 歯科技工用加圧埋没器 70756000

バブルリムーバーV

【形状、構造及び原理等】



外寸法 : W282×D180×H350 (mm)

内寸法 : ϕ 145×H218 (mm)原理 : ろう型を埋没させた鑄造用リングをタンク
内に入れ、そのタンク内を空気圧で加圧し、
気泡を圧縮させる。

【使用目的又は効果】

気泡の発生を抑制する加圧機能を備え、ろう型を埋
没するために用いる。

【使用方法等】

扉の開閉方法

- 1) 扉開閉ノブ (ナット) を反時計回りに 3~4 回
転させます。
- 2) ナットが緩むとノブ自身が外側 (右側) に倒れ
ます。
- 3) 扉中央のハンドルを持って、ノブと反対方向
(左側) へ大きく開けます。【注意】扉のハン
ドルは、持ち運び用に設計されていません。
- 4) 扉を閉める時は、1)~3)の逆操作を行って下
さい。
- 5) 本機を設置後、必ずエアーを入れ、耐圧及び不
備が無いか点検して下さい。

購入時最初の 1 回のみでの操作 (エアーの充填方法)

充填テスト

- 6) 1)~3)の操作で、扉を閉めノブ (ナット) を締
めます。
- 7) 減圧コックを L 方向 (反時計回り) に回し、全
開して下さい。
- 8) 扉に設置されている排気コックを閉じ、充填コ
ックを開けます。
- 9) 減圧コックを H 方向 (時計回り) に回し、
徐々にエアーを充填して下さい。
- 10) メーター (扉に設置) を見ながら、充填状態を
確認して下さい。
- 11) 本機の常用使用圧力は、0.49MPa です。
- 12) 本機の安全弁は、0.59MPa 位で働きます。
- 13) エアーが 0.49MPa まで充填したとき、減圧コ
ックの回転を止めて下さい。(エアー圧は任意
に変化させて下さい。)
- 14) 充填コックを閉じ、エアー漏れが無いか、確認
して下さい。

以上のテストは購入時のみ行う作業で、毎回する必
要はありません。

埋没材を加圧する方法

- 15) 通常通りワックスパターンを埋没します。
 - 16) 埋没後、付属のバスケット (2 段) を乗せて、
本機のタンクに入れます。
 - 17) 1) ~3)の操作で、扉を閉めノブ (ナット) を
閉めます。
 - 18) 扉に設置されている排気コックを閉じ、充填コ
ックを開けます。【注意】15) ~18) の作業は、
できるだけ素早く行って下さい。又、エアーの
充填には、充填コックを一度に全開するより、
徐々に充填するほうが良い結果が得られます。
 - 19) エアー圧が充填テスト (操作 6) ~14)) で行
った 0.49MPa まで達したら充填コックを閉じ
て下さい。
 - 20) 放置時間は、埋没材メーカーの指示書に記載さ
れている硬化時間と同じです。
- 【参考】クリストバライト系埋没材 ; 40~60 分
リン酸塩系埋没材 : 20~30 分
- 21) 埋没材が硬化終了後、排気コックを開け、エアー
を開放して下さい。
 - 22) 扉を開け、硬化した埋没リングを取り出し、次
の工程に移して下さい。

【使用上の注意】

本体の圧力が加わる部分には塩化ビニル製のパイ
プが使用されています。この素材は経年劣化や光
劣化にも強い素材ではありますが、高圧が加わる
部分でもありますので、安全性を考慮し、ご使用
の支障がない場合でもご使用開始後 7 年で、新し
いパイプに交換して下さい。

【保管方法及び有効期間等】

本機は、直射日光や紫外線を発行する機器の近く
を避けて室温にて保管すること。本機は、歯科の従事者以外が触れないように適切
に保管・管理すること。

【保守・点検に係る事項】

- 1) 本機を使用中に異常を感じたら直ちに使用を中
止して、取扱説明書に従って、点検または修頼
依頼すること。
- 2) 分解・修理や改造は絶対に行わないこと。
- 3) ご使用上の支障がない場合でもご使用開始後 7
年で、新しいパイプに交換して下さい。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

大栄歯科産業株式会社

電話 : 06-6441-3332